

第1学年

令和2年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

臨床教育専攻科

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	リハビリテーション医学 (第1学年 月曜日 前期:3時限目)
担当講師	佐藤 捷
授業の目標 授業の概要	我が国のリハビリテーション(以下リハ)医学・医療の歴史を簡単にふり返りつつ、 研究報告や症例を通して、拡大した当分野の問題点と課題を学ぶ。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 6	1. 進め方、評価法、参考文献
2	4/13	2. 日本を中心とするリハ医学・医療の歴史的経緯
3	4/20	3. 臨床医学的データの扱い方・読み方、ケースレポートの意義
4	4/27	4. リハの諸問題 ①臨床リハ(小林の報告を含む)
5	5/11	②医療安全とリスク管理
6	5/18	③運動学的障害のリハ
7	5/25	④早期リハの問題
8	6/ 1	⑤脊椎脊髄損傷と妊娠の問題
9	6/ 8	⑥歩行障害と疾患——Dr. 三好の考え方——
1 0	6/15	5. ケーススタディ ①音楽家の失語症
1 1	6/22	②女優の顔面神経疾患 <作業課題提示>
1 2	6/29	③スポーツ外傷と女子大学生
1 3	7/ 6	6. 運動療法の今
1 4	7/13	作業課題回答
1 5	8/ 3	評価・点検

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床医学総論 (第1学年 火曜日 前期：3時限目)
担当講師	菊地 孝夫
授業の目標 授業の概要	① 高齢者の生理的特徴、特有な病態、診断、治療についての理解 ② 最近話題のテーマの解説 ③ DVD 視聴により授業内容を深める。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 7	加齢変化と老年病（Ⅰ）生物学的・社会医学的側面
2	4/14	加齢変化と老年病（Ⅱ）運動・感覚機能
3	4/21	加齢変化と老年病（Ⅲ）精神・自律機能
4	4/28	老年症候群
5	5/12	神経・精神疾患－1
6	5/19	神経・精神疾患－2
7	5/26	循環器疾患－1
8	6/ 2	循環器疾患－2
9	6/ 9	呼吸器疾患－1
10	6/16	呼吸器疾患－2
11	6/23	救急医療の実践
12	6/30	消化器疾患－1
13	7/ 7	消化器疾患－2
14	7/14	消化器疾患－3
15	8/ 4	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/ 8	高齢者の消化器系腫瘍-1
2	9/15	高齢者の消化器系腫瘍-2
3	9/29	骨・運動器疾患
4	10/ 6	内分泌・代謝疾患-1
5	10/13	内分泌・代謝疾患-2
6	10/20	血液・免疫疾患-1
7	10/27	血液・免疫疾患-2
8	11/10	血液・免疫疾患-3
9	11/24	腎・泌尿器疾患-1
10	12/ 1	腎・泌尿器疾患-2
11	12/ 8	感染症-1
12	12/15	感染症-2
13	1/12	皮膚疾患
14	1/19	眼疾患
15	2/ 2	評価・点検

教科書	飯島 節 鳥羽研二 編集「老年学テキスト」 南江堂
参考書	
評価方法 評価基準	筆記試験を行い、その成績により評価する。 必要に応じてレポート課題。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅰ（あま指療法）（第1学年 水曜日 前期：1時限目）
担当講師	糟谷 俊彦
授業の目標 授業の概要	関節の動きを知る、 関節モビライゼーション直接法を知る その他の手技療法を知る

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 8	関節モビライゼーション、直接法、ノンスラスト法について
2	4/15	関節モビライゼーション直接法（理論含む）、手関節、手部の動き
3	4/22	関節モビライゼーション直接法（理論含む）、肘関節の動き
4	5/13	関節モビライゼーション直接法（理論含む）、肩関節の動き
5	5/20	関節モビライゼーション直接法（理論含む）、肩関節の動き
6	5/27	関節モビライゼーション直接法（理論含む）、膝関節の動き
7	6/ 3	関節モビライゼーション直接法（理論含む）、股関節
8	6/10	関節モビライゼーション直接法（理論含む）
9	6/17	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法（理論含む）
10	6/24	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法（理論含む）
11	7/ 1	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法（理論含む）
12	7/ 8	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法（理論含む）
13	7/15	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法（理論含む）
14	7/22	その他の手技療法、関節モビライゼーション直接法（理論含む）
15	8/ 5	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
		\

教科書	ノンスラストによる関節モビライゼーション（緑書房、4180円・税込み）
参考書	
評価方法 評価基準	筆記試験 65点以上 合格

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論 I (あん摩指療法) (第1学年 金曜日 後期: 3・4時限目)
担当講師	武藤 永治
講義の目標 講義の概要	<p>1. あん摩マッサージ指圧の臨床に応用する各種手技療法および運動療法等に関する基礎的な知識と技術を修得する。</p> <p>2. それらを臨床の場で、正しく応用する能力と態度を養う。</p> <p>3. この分野を将来教授する場合の要点と指導法についても学習する。</p>

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/11	3	授業ガイダンス 医学の進展とモラルの変遷
2		4	あん摩マッサージ指圧の種類とその歴史
3	9/18	3	あん摩マッサージ指圧の意義と特徴
4		4	マッサージの効果とその応用
5	9/25	3	マッサージの基本手技 (実技実習を含む)
6		4	クリニカルマッサージの意義と、評価から治療へのアプローチ
7	10/16	3	筋筋膜トリガーポイントの発生機序と臨床応用
8		4	頭部、顔面部、頸部のクリニカルマッサージ
9	10/23	3	頭部、顔面部、頸部のトリガーポイント・筋膜リリース
10		4	肩部、胸部のクリニカルマッサージ
11	10/30	3	肩部、胸部のトリガーポイント・筋膜リリース
12		4	上肢部のクリニカルマッサージ
13	11/13	3	上肢部のトリガーポイント・筋膜リリース
14		4	背腰部・腹部のクリニカルマッサージ
15	11/27	3	背腰部・腹部のトリガーポイント・筋膜リリース

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/27	4	骨盤部・大腿部のクリニカルマッサージ
17	12/ 4	3	骨盤部・大腿部のトリガーポイント・筋膜リリース
18		4	下腿部・足部のクリニカルマッサージ
19	12/11	3	下腿部・足部のトリガーポイント・筋膜リリース
20		4	スポーツマッサージの基礎理論
21	12/18	3	症状別・競技別スポーツマッサージの理論と実技
22		4	スポーツ選手等に应用するテーピング法
23	1/ 8	3	リンパ浮腫に対するマッサージ、結合織マッサージ
24		4	ディープティッシュマッサージの理論と実技
25	1/15	3	併用する治療体操・物理療法、メディカルヨガ
26		4	高齢者の在宅訪問マッサージ、機能訓練指導員とその業務
27	1/22	3	認知症ケアとタクティールマッサージ
28		4	小児のマッサージ
29	2/ 2	3	美顔・美容マッサージ、腹部マッサージ
30		4	試験の評価・点検 あま指療法の適応と禁忌及び臨床応用上の留意点

教科書	『改訂クリニカルマッサージ』 医道の日本社 大谷素明 監訳 ¥6,820
参考書	『トリガーポイントと筋筋膜療法マニュアル』 医道の日本社 川喜多健司 訳 ¥4,950
	『医療マッサージの基礎と応用』 金原出版 藤原實 著 ¥3,300
評価方法 評価基準	試験も行なうが、実技実習も取り入れて学習し、出欠や授業時間中の学習態度等を 勘案して総合的に評価する。

※準備物：マッサージ用タルクなど、その都度指示する。

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/ 9	運動器疾患の症状、治療法の検討
2	9/16	運動器疾患の症状、治療法の検討
3	9/23	運動器疾患の症状、治療法の検討
4	10/ 7	運動器疾患の症状、治療法の検討
5	10/14	運動器疾患の症状、治療法の検討
6	10/21	運動器疾患の症状、治療法の検討
7	10/28	運動器疾患の症状、治療法の検討
8	11/11	運動器疾患の症状、治療法の検討
9	11/25	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 0	12/ 2	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 1	12/ 9	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 2	12/16	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 3	1/13	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 4	1/20	運動器疾患の症状、治療法の検討
1 5	2/ 3	評価・点検

教科書	プリント
参考書	ノンスラストによる関節モビライゼーション2 (緑書房)
評価方法 評価基準	筆記試験 65点以上 合格

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（あま指療法）（第1学年 金曜日 前期：1・2時限目）
担当講師	糟谷 俊彦
授業の目標 授業の概要	トリガーポイント療法を知る 筋肉の伸張法を知る 関節モビライゼーション間接法を知る 物理療法を知る

授業計画

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	4/10	1	トリガーポイント療法、筋伸張法について
2		2	関節モビライゼーション、間接法について
3	4/17	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
4		2	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
5	4/24	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
6		2	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
7	5/ 8	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
8		2	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
9	5/15	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
10		2	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
11	5/22	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
12		2	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
13	5/29	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
14		2	関節モビライゼーション間接法（理論含む）
15	6/ 5	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/ 5	2	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
17	6/12	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
18		2	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
19	6/19	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
20		2	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
21	6/26	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
22		2	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
23	7/ 3	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
24		2	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
25	7/10	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
26		2	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
27	7/17	1	トリガーポイント療法、筋伸張法（理論を含む）
28		2	物理療法、関節モビライゼーション間接法（理論含む）
29	8/ 7	1	トリガーポイント療法、筋伸張法、関節モビライゼーション間接法、
30		2	評価・点検

教科書	ノンスラストによる関節モビライゼーション（緑書房、4180円・税込み）、 プリント
参考書	
評価方法 評価基準	筆記試験 65点以上 合格

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1	9/ 7	経絡学総論(経絡の歴史と分類)
2	9/14	経絡学各論—その1(手足の太陰・陽明)
3	9/28	経絡学各論—その2(手足の少陰・太陽)
4	10/ 5	経絡学各論—その3(手足の厥陰・少陽)
5	10/12	経絡学各論—その4(奇経八脈・その他)
6	10/19	腧穴学総論①(腧穴の歴史と分類)
7	10/26	腧穴学総論②(骨度と要穴の概要)
8	11/ 2	腧穴学各論—その1(手太陰・手陽明・足陽明)
9	11/ 9	腧穴学各論—その2(足太陰・手少陰・手太陽)
10	11/16	腧穴学各論—その3(足太陽・足少陰)
11	11/30	腧穴学各論—その4(手厥陰・手少陽・足少陽)
12	12/ 7	腧穴学各論—その5(足厥陰・任脈・督脈)
13	12/14	腧穴学各論—その6(経外奇穴①)
14	1/18	腧穴学各論—その7(経外奇穴②)
15	2/ 1	評価・点検

教科書	『WHO/WPRO 国際標準経穴部位—日本語公式版』(第二次日本経穴委員会訳、医道の日本社)¥4,500-(+税)
参考書	『ツボ単』(形井秀一ほか著、株式会社アヌ・ティー・エス刊)¥3,800-(+税)
評価方法 評価基準	期末試験のみ(ただし、予習・復習や授業への参加意欲、学外の学会参加などの実績を評価に加味することがある)

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅰ（鍼灸療法）（第1学年 木曜日 全期：3時限目）
担当講師	浦山 久嗣（実務経験のある教員）
授業の目標 授業の概要	テーマ：中医基礎理論・診断学・鍼灸医学史・臨床各論 目標：鍼灸の歴史や哲学を習得し、臨床に役立つ基礎理論を理解する。 概要：東洋系鍼灸独自の身体観と治療の手順を身に付ける。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 9	概要と世界観(中医基礎理論①)
2	4/16	蔵象学総論(中医基礎理論③)
3	4/23	蔵象学各論①肝・胆(中医基礎理論⑤)
4	5/ 7	蔵象学各論③脾・胃(中医基礎理論⑦)
5	5/14	蔵象学各論⑤腎・膀胱(中医基礎理論⑨)
6	5/21	蔵象学各論⑦奇恒の腑・その他の器官(中医基礎理論⑪)
7	5/28	弁証学総論(中医基礎理論⑬)
8	6/ 4	八綱弁証・気血津液弁証(中医基礎理論⑮)
9	6/11	六経弁証(中医基礎理論⑰)
10	6/18	臓腑弁証①肝・胆(中医基礎理論⑲)
11	6/25	臓腑弁証③脾・胃(中医基礎理論⑳)
12	7/ 2	臓腑弁証⑤腎・膀胱(中医基礎理論㉑)
13	7/ 9	診断学各論①問診学Ⅰ：一般(中医基礎理論㉓)
14	7/16	診断学各論⑤舌診学(中医基礎理論㉗)
15	8/ 6	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
1 6	9/10	日本鍼灸医学史①(古代)
1 7	9/17	中国鍼灸医学史①(古代)
1 8	9/24	中国鍼灸医学史②(中世)
1 9	10/ 8	日本鍼灸医学史②(中世)
2 0	10/15	中国鍼灸医学史③(近世)
2 1	10/22	日本鍼灸医学史③(近世Ⅰ)
2 2	10/29	日本鍼灸医学史④(近世Ⅱ)
2 3	11/12	国際近現代鍼灸医学史(19世紀)
2 4	11/26	国際近現代鍼灸医学史(20世紀)
2 5	12/ 3	鍼灸臨床各論①疼痛総論・頭痛
2 6	12/10	鍼灸臨床各論②眩暈・耳鳴
2 7	12/17	鍼灸臨床各論③上気道炎
2 8	1/14	鍼灸臨床各論④頸部痛・肩こり
2 9	1/21	鍼灸臨床各論⑤上肢の疾患
3 0	2/ 4	評価点検

教科書	『[詳解]中医基礎理論』(浅川 要 監訳、東洋学術出版社 1997年刊) ¥4,500-(+税)
参考書	『針灸の歴史—悠久の東洋医術[あじあブックス]』(小曾戸洋ほか著、大修館書店 2015年刊) ¥1,800-(+税)
評価方法 評価基準	期末試験のみ(ただし、予習・復習や授業への参加意欲、学外の学会参加などの実績を評価に加味することがある)

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（鍼灸療法）（第1学年 木曜日 前期：4時限目）
担当講師	浦山 久嗣
授業の目標 授業の概要	テーマ：中医基礎理論 目標：弁証論治に基づく診断技術を身に着ける。 概要：中国医学の生理観・病理観を理解する。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 9	精気神論・陰陽五行説(中医基礎理論②)
2	4/16	経絡・腧穴学総論(中医基礎理論④)
3	4/23	蔵象学各論②心・小腸(中医基礎理論⑥)
4	5/ 7	蔵象学各論④肺・大腸(中医基礎理論⑧)
5	5/14	蔵象学各論⑥心包・膻中・命門・三焦(中医基礎理論⑩)
6	5/21	蔵象学各論⑧気血・営衛・津液(中医基礎理論⑫)
7	5/28	病因病機学(中医基礎理論⑭)
8	6/ 4	病邪弁証(中医基礎理論⑯)
9	6/11	外感温熱弁証(中医基礎理論⑰)
10	6/18	臓腑弁証②心・小腸(中医基礎理論⑳)
11	6/25	臓腑弁証④肺・大腸(中医基礎理論㉒)
12	7/ 2	診断学総論・診断学各論①望診・聞診(中医基礎理論㉔)
13	7/ 9	診断学各論③問診学Ⅱ：病態分析(中医基礎理論㉖)
14	7/16	中医診断学⑦脈診学(中医基礎理論㉘)
15	8/ 6	評価・点検

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（鍼灸療法）（第1学年 水曜日 前期：3・4時限目）
担当講師	今野 正弘
授業の目標 授業の概要	目標：経絡治療を行うために必要な東洋医学的基礎診断法を習得する。 概要：経絡治療における生理・病理を理解する。 病態把握・治療方針の立証、治療の流れを理解し把握する。 病理理論に基づいて、治療を行う上で必要とされる技術を習得する。

授業計画

前期

回	月 日	時限	講義内容
1	4/ 8	3	経絡治療概論（オリエンテーション）
2		4	基礎概論
3	4/15	3	臓象 ① 肝
4		4	臓象 ② 心
5	4/22	3	臓象 ③ 脾
6		4	臓象 ④ 肺
7	5/13	3	臓象 ⑤ 腎
8		4	病因（内因・外因・不内外因）
9	5/20	3	病理 ① 肝
10		4	病理 ② 脾
11	5/27	3	病理 ③ 肺
12		4	病理 ④ 腎
13	6/ 3	3	診断技術（望聞問切）
14		4	治療（本治法・標治法）
15	6/10	3	経絡治療の流れ

前期

回	月 日	時限	講義内容
16	6/10	4	実力テスト（基礎編）
17	6/17	3	肝の生理・病理
18		4	脾の生理・病理
19	6/24	3	肺の生理・病理
20		4	腎の生理・病理
21	7/ 1	3	主要症候に対する鍼灸治療 ①体質別治療
22		4	主要症候に対する鍼灸治療 ②老人・小児の治療
23	7/ 8	3	主要症候に対する鍼灸治療 ③頭部の治療
24		4	主要症候に対する鍼灸治療 ④頸・肩周辺の疾患
25	7/15	3	主要症候に対する鍼灸治療 ⑤腰周辺の疾患
26		4	主要症候に対する鍼灸治療 ⑥下腿の病
27	7/22	3	主要症候に対する鍼灸治療 ⑦呼吸器の病
28		4	主要症候に対する鍼灸治療 ⑧消化器の病
29	8/ 5	3	経絡治療の実際
30		4	評価点検

教科書	日本鍼灸医学 基礎編 （経絡治療学会編） ¥ 5,400（税引）
	日本鍼灸医学 臨床編 （経絡治療学会編） ¥10,000（税引）
参考書	臓腑経絡からみた漢方と鍼灸 第二巻（たにぐち書店） ¥7,000（税引）
	臓腑経絡からみた漢方と鍼灸 第五巻（たにぐち書店） ¥8,095（税引）
	脈診習得法（MAM）（医師薬出版株式会社） ¥4,200（税引）
	1人で学べる脈診習熟ノート（上・下）（たにぐち書店） ¥7,000（税引）
	これからの「脈診」の話をしよう！！（たにぐち書店） ¥4,000（税引）
評価方法 評価基準	症例から経絡治療における病理考察ができる。授業への出席・態度
	試験結果 60%
	出席状況 30%
	授業態度 10%

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	あま指理論 (第1学年 金曜日 前期:3・4時限目)
担当講師	平栗 辰也
授業の目標 授業の概要	一般目標: あま指治療に応用できる手技療法や施術時介助法等を実際に経験して、その必要性を理解し、患者さんに有効に応用することができる。 : (1) 臨床上で多い症例へのあま指の手技を実践応用できるよう習得する。 到達目標: (2) 症例に対するあま指施術が有効であることを鑑別し、適切に説明できる。 : (3) 患者施術時に必要な介助法や対応法などを理解し応用実践できる。

授業計画

前期

回	月 日	時限	講義内容
1	4/10	3	(オリエンテーション)講師・学生紹介、講義: あん摩、マッサージ、指圧の意義 実習: 伏臥位での背部、腰部のあま指手技実技、現状実力の確認
2		4	講義: 基本手技(軽擦法、圧迫法、叩打法) 実習: 伏臥位での背部、腰部、殿部、下肢部等のあま指手技実技、叩打法・曲手練習
3	4/17	3	講義: 基本手技(揉捏法、振せん法、運動法) 実習: 伏臥位での腰殿部、大腿部、下腿部、足部のあま指手技実技、叩打法・曲手練
4		4	講義: あん摩マッサージ 指圧の禁忌症 実習: 側臥位での肩背部、頸部、側頭部、上腕部、前腕部、手掌部、手指部の実技①
5	4/24	3	講義: あん摩マッサージ 指圧の適応症 実習: 側臥位での肩背部、頸部、側頭部、上腕部、前腕部、手掌部、手指部の実技②
6		4	講義: マッサージ等の基本手技の作用 ①軽擦法の生理的作用 実習: 側臥位での肩背部、頸部、側頭部、上腕部、前腕部、手掌部、手指部の実技③
7	5/ 8	3	講義: マッサージ等の基本手技の作用 ②揉捏法の生理的作用 実習: 側臥位での肩背部、頸部、側頭部、上腕部、前腕部、手掌部、手指部の実技④
8		4	講義: マッサージ等の基本手技の作用 ③揉捏法の生理的作用 実習: 仰臥位で顔面部、肩上部、胸部、後頸部の実技①
9	5/15	3	講義: 患者施術時のリスク管理① 緊急時対応の救急法(1) 心肺蘇生・AED 操作 法
10		4	講義: 患者施術時のリスク管理② 緊急時対応の救急法(2) 止血法 実習: あま指による頭頸部、頸肩腕部の各部位の症状別治療法(肩凝り、五十肩)
11	5/22	3	講義: 患者施術時のリスク管理③ 緊急時対応の救急法(3) 三角巾等包帯固定法 実習: あま指による頭頸部、頸肩腕部の各部位の症状別治療法(頭痛・めまい)
12		4	講義: 患者施術時のリスク管理④ 緊急時対応の救急法(4) (簡易)担架搬送法 実習: あま指による四肢部位の症状別治療法(脳血管障害後遺症による片麻痺)
13	5/29	3	中間試験(実技試験①) 緊急時対応の救急法 心肺蘇生とAED操作法の実技等
14		4	評 価 ・ 点 検 (実 技 試 験 ①)
15	6/ 5	3	講義: 患者施術時に必要な介助法 ①介護原則、安全・安楽な更衣着脱介助 実習: 仰臥位で顔面部、肩上部、胸部、後頸部の実技②

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	6/5	4	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ④叩打法の生理的作用 実習：伏臥位にはならず、側臥位～仰臥位～座位での実技①
17	6/12	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ②安全・安楽な体位変換介助 実習：伏臥位～仰臥位～座位の総合実技①
18		4	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ⑤振せん法の生理的作用 実習：伏臥位にはならず、側臥位～仰臥位～座位での実技②
19	6/19	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ③安全・安楽な立ち上がり介助 実習：伏臥位～仰臥位～座位の総合実技②
20		4	講義：マッサージ等の基本手技の作用 ⑥運動法の生理的作用 実習：あま指による関節痛に対する治療法（変形性関節症、リウマチ等）
21	6/26	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ④移乗（車椅子使用法）・移動介助 実習：あま指による全身症状に対する症状別治療（肉体・精神疲労、不眠症、冷え性）
22		4	講義：マッサージ等生体作用機転 実習：あま指による消化器系疾患に対する治療法（慢性胃腸病、常習性便秘）
23	7/3	3	講義：患者施術時に必要な介助法 ⑤歩行（杖、歩行器使用）・移動介助 実習：あま指による脳疾患後遺症等による半身麻痺機能回復訓練（変形徒手矯正術）
24		4	講義：マッサージの治療効果 組織、器官に対する治療効果（1） 実習：あま指による外傷後療法（骨折、脱臼、捻挫、打撲、挫傷）
25	7/10	3	講義：マッサージの治療効果 組織、器官に対する治療効果（2） 実習：あま指による坐骨、上肢、三叉、肋間神経痛等の神経痛に対する治療法
26		4	講義：マッサージの治療効果 臨床に応用する5作用 実習：あま指による腰痛症状に対する治療（骨・関節異常腰痛、外傷腰痛、内臓反射）
27	7/17	3	前期末試験（実技試験②） あん摩マッサージ指圧応用学総合実技
28		4	評価・点検（実技試験②）
29	8/7	3	総合評価・点検
30		4	あん摩マッサージ指圧手技及び応用学の指導法について ～今後のあり方を考える～（グループ討議）

教科書	講師準備の配布資料プリント等
参考書	「あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞」（医道の日本社）等の各位既所有品
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への出席・学習態度・参加意欲、実技に対する努力姿勢（20%）、 ・ 試験（筆記試験）（30%） ・ 試験（口頭試問＋実技試験）（40%）、 ・ レポート（10%）

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	鍼灸理論 (第1学年 水曜日 全期:2時限目)
担当講師	安斎 昌弘 (実務経験のある教員)
授業の目標 授業の概要	基礎的な理論をもとに古代から現代への変化の移り等対応し乍ら鍼灸治療の効果 を多職種統合医療への取組等新しい鍼灸を含め指導。

授業計画

前期

回	月 日	講義内容
1	4/ 8	鍼灸の沿革
2	4/15	戦後における日本の鍼灸
3	4/22	リスク管理
4	5/13	鍼の基礎 毫鍼
5	5/20	古代十九鍼
6	5/27	灸の基礎 材料保存、種類、用途
7	6/ 3	施灸術の種類
8	6/10	現行の鍼の方法 三方式
9	6/17	基本 17手技
10	6/24	鍼の臨床応用 (適否の判断基準等)
11	7/ 1	灸の臨床応用 (適否の判断基準等)
12	7/ 8	特殊鍼法
13	7/15	〃
14	7/22	〃
15	8/ 5	評価・点検

後 期

回	月 日	講 義 内 容
16	9/ 9	特殊鍼法
17	9/16	”
18	9/23	”
19	10/ 7	”
20	10/14	奇穴（新穴）への施灸法
21	10/21	経穴の組合せ施灸法
22	10/28	鍼（灸）の治効理論（応用実技を含め）
23	11/11	”
24	11/25	”
25	12/ 2	”
26	12/ 9	”
27	12/16	”
28	1/13	”
29	1/20	”
30	2/ 3	評価点検

教科書	『図解 鍼灸療法技術ガイド(I・II)』(矢野忠ほか編、光文堂刊)各々¥8,500(税引)
参考書	
評価方法 評価基準	授業態度・取組の熱意 実施応用と筆記試験の総合評価

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔共通〕 (第1学年 月曜日 後期：1・2時限目)
担当講師	浦山 久嗣
授業の目標 授業の概要	<p>目標：実習を通じて鍼灸および按摩・マッサージ・指圧を臨床応用する上で必要な知識と技術を習得する。</p> <p>概要：①臨床実習を通じて主要な徒手検査法による鑑別診断力を習得する。 ②臨床実習を通じて合理的で解り易い治療記録の記述法を習得する。</p>

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/ 7	1	診察と治療の手順(座学)
2		2	診察と治療の手順(座学)
3	9/14	1	講師による治療演習の見学とカルテ記載の演習(見学と演習)
4		2	講師による治療演習の見学とカルテ記載の演習(見学と演習)
5	9/28	1	講師による臨床実技の見学(臨床見学)
6		2	講師による臨床実技の見学(臨床見学)
7	10/ 5	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上(以下、臨床実習)
8		2	以下同じ
9	10/12	1	〃
10		2	〃
11	10/19	1	〃
12		2	〃
13	10/26	1	〃
14		2	〃
15	11/ 2	1	〃

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/ 2	2	〃
17	11/ 9	1	〃
18		2	〃
19	11/16	1	〃
20		2	〃
21	11/30	1	〃
22		2	〃
23	12/ 7	1	〃

教科書	『日本鍼灸医学(経絡治療・臨床篇)』(岡部素明ほか著、経絡治療学会刊)¥12,000-(税込)
参考書	
評価方法 評価基準	自分が関わった症例のカルテのうち、1症例の初診時および初回時と最近時のカルテのコピーを添付して、症例報告のレポートを提出する。その内容を評価基準とする。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔共通〕 (第1学年 火曜日 後期：1・2時限目)
担当講師	浦山 久嗣
授業の目標 授業の概要	テーマ：実践的臨床力の向上。 目標：臨床実習を通じて基礎的な東洋医学的知識と技術を身につける。 概要：①基礎的な知識・技術を活かせる応用力を身につける。 ②総合的な診断情報の収集と合理的な弁証論治の技術を身につける。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/ 8	1	診察と治療の手順(座学)
2		2	診察と治療の手順(座学)
3	9/15	1	講師による治療演習の見学とカルテ記載の演習(見学と演習)
4		2	講師による治療演習の見学とカルテ記載の演習(見学と演習)
5	9/29	1	講師による臨床実技の見学(臨床見学)
6		2	講師による臨床実技の見学(臨床見学)
7	10/ 6	1	鑑別診断および治療記録の充実と臨床力の向上(以下、臨床実習)
8		2	以下同じ
9	10/13	1	〃
10		2	〃
11	10/20	1	〃
12		2	〃
13	10/27	1	〃
14		2	〃
15	11/10	1	〃

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/10	2	〃
17	11/24	1	〃
18		2	〃
19	12/ 1	1	〃
20		12	〃
21	12/ 8	1	〃
22		2	〃

教科書	『これからの「脉診」の話をしよう!!』(浦山玖蔵 著 ; たにぐち書店 2018 年刊) ¥4,000-(+税)
参考書	
評価方法 評価基準	自分が関わった症例のカルテのうち、1 症例の初診時および初回時と最近時のカルテのコピーを添付して、症例報告のレポートを提出する。その内容を評価基準とする。

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔あま指〕 (第1学年 木曜日 後期：1・2時限目)
担当講師	糟谷 俊彦
授業の目標 授業の概要	施術室への患者の誘導法、問診の仕方を知る 時間内での全身マッサージ、局所マッサージ法を知る 診察法と治療法を知る症例別の鑑別、適応、禁忌を知る 症例別の鑑別、適応、禁忌を知る

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/10	1	医療面接等で患者の誘導法、問診法を覚える
2		2	医療面接等で患者の誘導法、問診法の進め方を覚える
3	9/17	1	医療面接等で患者の誘導法、問診法の進め方を覚える
4		2	全身マッサージ法の時間内での練習、局所マッサージ法の練習
5	9/24	1	全身マッサージ法の時間内での練習、局所マッサージ法の練習
6		2	全身マッサージ法の時間内での練習、局所マッサージ法の練習
7	10/ 8	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
8		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
9	10/15	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
10		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
11	10/22	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
12		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
13	10/29	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
14		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
15	11/12	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/12	2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
17	11/26	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
18		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
19	12/ 3	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
20		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
21	12/10	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
22		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
23	12/17	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
24		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
25	1/14	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
26		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
27	1/21	1	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
28		2	問診票、カルテ、主訴等から病態の把握による、治療方針の決定、治療
29	2/ 4	1	評価・点検日・症例、記載・報告等
30		2	評価・点検日・症例、記載・報告等

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	問診票、カルテ、主訴等からの病態把握 (25) 治療方針の決定、治療 (25) 鑑別診断の適切な説明 (25) 症例報告等 (25)

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔あま指〕 (第1学年 金曜日 後期：1・2時限目)
担当講師	穴戸新一朗
授業の目標 授業の概要	施術者として必要な施術に関する知識と技能について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。 あん摩マッサージ指圧の意義と役割、施術者の心構え、衛生管理、施術室の管理、リスク管理など

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講義内容
1	9/11	1	オリエンテーション
2		2	あん摩マッサージ指圧の手技状況の確認
3	9/18	1	施術室の状況把握、衛生管理、リスク管理
4		2	施術の流れの確認（問診、検査、施術、評価など）
5	9/25	1	(実践・実習)
6		2	(実践・実習)
7	10/16	1	(実践・実習)
8		2	(実践・実習)
9	10/23	1	(実践・実習)
10		2	(実践・実習)
11	10/30	1	(実践・実習)
12		2	(実践・実習)
13	11/13	1	(実践・実習)
14		2	(実践・実習)
15	11/27	1	(実践・実習)

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/27	2	(実践・実習)
17	12/ 4	1	(実践・実習)
18		2	(実践・実習)
19	12/11	1	(実践・実習)
20		2	(実践・実習)
21	12/18	1	(実践・実習)
22		2	(実践・実習)
23	1/ 8	1	(実践・実習)
24		2	(実践・実習)
25	1/15	1	(実践・実習)
26		2	(実践・実習)
27	1/22	1	(実践・実習)
28		2	(実践・実習)
29	2/ 2	1	評価・点検日 (・ 患者受入れ)
30		2	評価・点検日 (・ 患者受入れ)

教科書	
参考書	
評価方法 評価基準	施術状況（手技熟練度・施術の流れ・患者対応など） 出席状況、カルテなどの報告書の充実度などを考慮して評価する

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔あま指〕 (第1学年 木曜日 前期：1・2時限目)
担当講師	平栗 辰也
授業の目標 授業の概要	あま指治療に用いる手技療法や施術時介助法等を実際に実施して、その必要性を理解し、患者さんに有効に施術治療サービス提供することができる。 (1) 臨床上多い症例へのあま指の手技を実践施術治療できるよう習得する。 (2) 症例に対するあま指施術が有効であることを鑑別し、適切に説明できる。 (3) 患者施術時に必要な介助法や対応法などを理解し応用実践できる。

授業計画

前期

回	月 日	時限	講義内容
1	4/ 9	1	講義：あん摩マッサージ指圧の治療の実際と手順について（オリエンテーション） 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
2		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
3	4/16	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
4		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
5	4/23	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
6		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
7	5/ 7	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
8		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
9	5/14	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
10		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
11	5/21	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
12		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
13	5/28	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
14		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
15	6/ 4	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討

前期

回	月 日	時限	講義内容
16	6/4	2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
17	6/11	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
18		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
19	6/18	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
20		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
21	6/25	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
22		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
23	7/2	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
24		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
25	7/9	1	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
26		2	講義：予診問診票や施術録から読み取る患者病態状況の把握と治療方針検討 実習：予約患者様の主訴に対する臨床治療実習、施術録への記録、症例検討
27	7/16	1	試験日（・患者受入れ、・症例発表等）
28		2	試験日（・患者受入れ、・症例発表等）
29	8/6	1	評価・点検日（・患者受入れ、・症例発表等）
30		2	評価・点検日（・患者受入れ、・症例発表等）

教科書	「あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>」（医道の日本社）等
参考書	配布資料プリント等
評価方法 評価基準	授業への出席・学習態度・参加意欲、実技に対する努力姿勢（20%） 試験（筆記試験）または（口頭試問＋実技試験）・レポート（50%） 臨床実習時における治療施術後の患者様満足度モニタリング（30%）

令和2年度 臨床教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔鍼灸〕 (第1学年 月曜日 前期：1・2時限目)
担当講師	川嶋 睦子
授業の目標 授業の概要	1：より良く患者を理解するために、医療面接(良好なコミュニケーションの構築)を習得する。 2：鍼灸師が行える身体診察法を習得する。 3：病態から適応・不適応を鑑別し、診断・選穴・手技が出来るよう学習する。

授業計画

前期

回	月 日	時限	講義内容
1	4/ 6	1	治療環境・医療面接・カルテの書き方
2		2	治療環境・医療面接・カルテの書き方
3	4/13	1	カルテ作成・書き方・病態の把握
4		2	カルテ作成・書き方・病態の把握
5	4/20	1	カルテ作成・書き方・病態の把握
6		2	カルテ作成・書き方・病態の把握
7	4/27	1	リンパドレナージ講義・実技
8		2	リンパドレナージ講義・実技
9	5/11	1	リンパドレナージ講義・実技
10		2	臨床実習
11	5/18	1	臨床実習
12		2	臨床実習
13	5/25	1	臨床実習
14		2	臨床実習
15	6/ 1	1	臨床実習

前 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1 6	6/ 1	2	臨床実習
1 7	6/ 8	1	臨床実習
1 8		2	臨床実習
1 9	6/15	1	臨床実習
2 0		2	臨床実習
2 1	6/22	1	臨床実習
2 2		2	臨床実習
2 3	6/29	1	臨床実習
2 4		2	臨床実習
2 5	7/ 6	1	臨床実習
2 6		2	臨床実習
2 7	7/13	1	臨床実習
2 8		2	臨床実習
2 9	8/ 3	1	評価・点検日（患者受け入れ）
3 0		2	評価・点検日（患者受け入れ）

教科書	学内で推奨されている教科書，配付資料
参考書	
評価方法 評価基準	履修内容順に進行する。ただし、学生の能力に応じて変更有り。

令和2年度 東洋療法教育専攻科 シラバス記入表

授業科目名	臨床実習〔鍼灸〕 (第1学年 水曜日 後期：3・4時限目)
担当講師	渡部 正司
授業の目標 授業の概要	目標：鍼灸刺激のエビデンスから効果的な診療を学修する。 概要：鍼灸刺激のエビデンスから臨床効果を考慮した治療方針を立て、 効果的な施術とその評価を考察する。

授業計画

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
1	9/ 9	3	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
2		4	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
3	9/16	3	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
4		4	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
5	9/23	3	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
6		4	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
7	10/ 7	3	鍼灸刺激の生体反応とその機序や臨床効果を考察する。
8		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
9	10/14	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
10		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
11	10/21	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
12		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
13	10/28	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
14		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
15	11/11	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。

後 期

回	月 日	時限	講 義 内 容
16	11/11	4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
17	11/25	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
18		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
19	12/ 2	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
20		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
21	12/ 9	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
22		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
23	12/16	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
24		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
25	1/13	3	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
26		4	病態を把握し、治療方針を立て施術し、結果から全体を評価する。
27	1/20	3	試験日 (○ 患者受入れ、 ・ 症例発表等)
28		4	試験日 (○ 患者受入れ、 ・ 症例発表等)
29	2/ 3	3	評価・点検日 (○ 患者受入れ、 ・ 症例発表等)
30		4	評価・点検日 (・ 患者受入れ、 ○ 症例発表等)

教科書	『図解 鍼灸療法技術ガイド(Ⅰ・Ⅱ)』(矢野忠ほか編、光文堂刊)各々¥8,500(税引)
参考書	
評価方法 評価基準	診療状況(問診、治療、記録、結果)を通して総合評価する。

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（臨床教育専攻科）

※高等教育修学支援制度の対象外です

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	実務内容
東洋医学臨床論Ⅰ (鍼灸)	1年次	90	浦山久嗣	30年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
鍼灸理論	1年次	60	安齋昌弘	40年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
東洋医学特論Ⅱ	2年次	30	浦山久嗣	30年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
卒業論文	2年次	60	安齋昌弘	40年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
	合計時間数	240			